

### 2年間を振り返って

広橋 学

会長に任命されて2年が経とうとしています。思えば色々な事がありました。船出前に岡崎前会長が急逝されて大きな悲しみを抱えたままの出港は不安ばかりが大きくはたして35周年も含めて自分で大丈夫なのだろうかと毎日悩んでおりました。しかし、3役に支えられ、各担当部長の皆さん一般会員の皆さんのお陰で役目を果たせたと実感しています。

反省すべき点は山ほどございます。工夫が足りなかった部分、会話が足りなかった部分、もう一味加えればもっと良い事業になったのではと考えればキリがありません。自分の思いが通じなかった事もあり、残念な結果を招いてしまった事もあります。自分の力の無さを実感しながらこの2年を過してまいりました。今考えている事はこの貴重な体験を今後の自分の人生の糧にして役立てて行くという事と、会へ恩返しが出来ればということです。

その役に就いてみないと分からない事柄が沢山あります。4年間副会長を務めました但し役が変われば全く別物です。まさに1言では語りつくせないものがありました。この経験を生かし新年度のサポートが出来るよう努めたいと思います。

最後にご協力いただいた素晴らしい若き経営者の会員の皆様に御礼申し上げますと共に自身が掲げた「謙虚な気持ちを持って感謝の気持ちを忘れずに」と「調和と協調」という2つの言葉を胸に刻んで精進してまいります。本当に有難うございました。

### この一年を振り返って

副会長 福永謙治

この一年はかつて経験のない3役の人事体制でなんとなく会の中での仕事がやりにくかったように思える。理由はやはりバランスでしょう。役員会において担当部の議論の戦いにおいて、あと一步、押しの足りないところの最終段階の補足や擁護が副会長の仕事。

そういう点では、教育部さんに力添えが出来なかった分、大変負担をかけて申し訳なかったと反省しております。その分3月の一泊研修では皆さんのお世話役としてしっかり仕事をさせていただこうと思っております。若き経営者の先輩方より 会は会社の縮図なんだ。自企業で失敗しないために若経でたくさん経験し失敗してその中から多くのことを学んだと教えられてきました。

みんなで考え議論やシミュレーションをし、役員会でもまれ、また持ち帰って議論シミュレーションしつつして、事業を実行し、それでも足りないところや、想定外のトラブルを乗り越えたとき、携わった者みんなで一回り大きくなると信じています。是非、失敗を恐れず、自分の後ろにはいつもみんながいてくれるという自信でいろいろな事業にチャレンジしていただきたいと思っております。1年間お疲れ様でした。ありがとうございました。



企画文化部副部長 木田英二

本年度は、企画部と文化部が一緒になり事業が倍になり、部長のサポート役をしなければいけないのに、部長がほとんど一人でこなした気がします。今年の部のスローガン「不景気の世の中に咲かせて見ましよう銭の華」でしたが祭り事業4回のうち3回は雨で、それでも収支はプラスで終わることが出来、また、隣の店では客が食事ができるように雨宿りする場所を作っていて雨の場合にはどのようにして客に来てもらうように工夫して、次回につながるようにしていきたいとおもいます。10月は、荒滝山の山登り山頂での弁当は格別に美味しく3個も食べちゃいました。家族会では、部員が担当を持ち、射的、輪投げなどして子供達は喜んで頂けたのではないのでしょうか。餅つきでは、流学生が沢山参加される予定でしたが、一人も参加されず呼びかけがたりなかったかもしれません。また、奥様事業と献血事業が残っていますが、全力で頑張りますので宜しくお願いします。



1年間ありがとうございました  
教育部長 山縣義昭

21年度教育部を振り返ってみると「感謝」の一言に尽きると思っています。今年は「体験から学ぶ」「会員の力を生かす」というテーマの下に、講演形式の例会だけでなく会員が体験できる例会を増やしました。体験から得た「知恵」は本で読んだ「知識」に優る、ということを皆様に感じて貰えたとすれば幸いです。

また今年度は「一例会一担当」として教育部員には一つの例会を最初から最後まで、つまり例会の企画・講師の手配・例会運営・懇親会まで担当して貰いました。部員の皆様には負担が大変だったと思いますが、ついてきて頂きありがとうございました。特に副部長の塔野さんには影に日なたに助けて頂きました。

そして会員の皆様にはご多忙の中、沢山の例会出席を頂き積極的に体験に参加して頂き誠にありがとうございました。

最後に「体験から学ぶ」集大成である「一泊研修 in Korea」にも沢山のご参加を頂きありがとうございました。この原稿を書いている2月末の時点では分かりませんが、若経の皆様ですからきっと釜山で「伝説」を残して帰って来てくれている事でしょう。

皆様、一年間本当にカムサハムニダ(ありがとうございました)

### わっしょい!の一年間を振り返って

副部長 原 洋司

猪熊部長のもと、一年間封部長をやらせて頂きましたが、忙しさを理由にすることは良くないことですが、私事であまり協力ができず申し訳ない一年となりました。結果として猪熊部長はもとより、同じく副部長の木田さんにも多大なる負担をかけてしまい辛い一年となってしまいました。

そんな中でも一番印象に残っている事業は家族会です。不謹慎ではございますが、一昨年の手品のリベンジはされなくてホッとしたような残念なような…。それ以外にもいろいろな趣向を凝らしたりし、大変勉強になる家族会でした。

来年度は第二子が生まれ、忙しさはさらに増すこととなりますが、今年度の経験を活かし、自分のできる得意なことをアピールして会に貢献していけたらと考えています。

まだあと少しありますが頑張ります!

